2015 年度後期とちぎ MOT プログラム・イグゼクティブコース
第 2 部「世界で活躍する企業の人材育成」指定図書

宇都宮大学大学院
工学研究科客員教授
林 明 夫

1. 指定図書

- (1) 「Start-up Nations」の日本語訳 ダン・セノール、シャウル・シングル著「アップル、グーグル、マイクロソフトはなぜ、イスラエル企業を欲しがるとイノベーションが次々に生まれる秘密―」ダイヤモンド社 2015 年 5 月 18 日刊
- (2) エリック・ブリニョルフソン、アンドリュース・マカフィー著「ザ・セカンド・マシン・エイジ」日経 BP 社 2015 年 8 月 3 日刊
- (3) マイケル・マローン著「インテル―世界で最も重要な会社の産業史―」文藝春秋社 2015 年 9 月 20 日刊
- (4) ステファン・ヘック、マット・ロジャース著「リソース・レボリューションの衝撃―100 年に一度のビジネスチャンス―」プレジデント社 2015 年 9 月 1 日刊
- (5) モートン・マイヤーズ著「セレンディピティと近代医学―独創、偶然、発見の 100 年―」中公文庫、中央公論新社 2015 年 4 月 25 日刊
- (6) 大塚啓二郎著「なぜ貧しい国はなくなるのか―正しい開発戦略を考える―」日本経済新聞社 2014 年 3 月 19 日刊
- (7) マリアナ・マツカート著「企業家としての国家―イノベーション力で官は民に劣るといふ神話―」薬事日報社 2015 年 9 月 11 日刊
- (8) シュンペーター著「経済発展の理論(上)(下)」岩波文庫 岩波書店 1977 年 9 月 16 日刊
- (9) 野中郁次郎、竹内弘高著「知識創造企業」東洋経済新報社 1996 年 3 月 21 日刊
- (10) 山梨広一著「シンプル―戦いのレベルを上げる実践的アプローチ、その戦略は一言で言えるか」東洋経済新報社 2014 年 3 月 27 日刊
- (11) 熊谷徹著「日本とドイツ、ふたつの戦後」集英社新書 集英社 2015 年 7 月 22 日刊
- (12) 八代尚宏著「日本的雇用慣行を打ち破れ―働き方改革の進め方―」日本経済新聞出版社 2015 年 4 月 22 日刊
- (13) 田沢由利著「在宅勤務(テレワーク)が会社を救う―社員が元気に働く企業の新戦略―」東洋経済新報社 2014 年 2 月 13 日刊
- (14) 漫画版「世界の歴史 1～10 巻」集英社文庫 集英社 2009 年 4 月 22 日刊
- (15) アナウンサーが読む「聞く教科書、山川詳説世界史」山川出版社 2013 年 11 月 25 日刊、木谷勤著「もういちど読む山川世界現代史」山川出版社 2015 年 3 月 30 日刊
- (16) 金谷治訳注「論語」岩波文庫 岩波書店 1999 年 11 月 16 日刊
- (17) 小林勝人訳注「孟子(上)(下)」岩波文庫 岩波書店 1972 年 6 月 16 日刊
- (18) 金谷治訳注「大学・中庸」岩波文庫 岩波書店 1998 年 4 月 16 日刊
- (19) 呉兢著 守屋洋訳「貞観政要(じょうがんせいよう)」ちくま学芸文庫 筑摩書房 2015 年 9 月 9 日刊
- (20) 内村鑑三著「後世への最大遺物、デンマーク国の話」、「代表的日本人」ともに岩波文庫 岩波書店刊

2. コメント

- ・以上を本プログラム第2部「世界で活躍する企業の人材育成」の指定図書といたします。これから、来年3月末日までの半年間、じっくり腰をすえて、ノートを取りながらお読みください。
- ・「第1グループ」(1)～(5)で、「グローバル社会のイノベーションとは何か」を考えてください。(1)(2)は必読書です。
- ・「第2グループ」(6)(7)で、「国の発展とは何か」を考えてください。
- ・「第3グループ」(8)～(11)で、「イノベーションと知識社会とは何か」を考えてください。
- ・「第4グループ」(12)(13)で、「新しい働き方とは何か」を考えてください。
- ・「第5グループ」(14)(15)で、グローバル時代に欠かせない「世界史」の学び直しを考えてください。
- ・「第6グループ」(16)～(20)で、「リーダーとは何か」を考えてください。(16)(17)(18)(19)は、現代語訳でゆっくりとお読みください。最後に(20)の2冊をお読みください。
- ・これらの本の何冊かをお読みになって考えたことと、本プログラム第2部で考えたことを、A4版レジュメ1～2枚にまとめ、その要旨を1月27日(水)の林明夫の講義前日までに事務局の宮寄様宛に、メールでお送りください。
- ・皆様の積極的な御参加を希望いたします。では、がんばって。

以上